



令和3年度坂戸市提案型協働事業  
フードパントリーで食卓を元気に！

坂戸  
フードパントリー  
おひさま

# ●フードパントリー\_\_団体概要

## ●組織・団体の概要

2021年2月に筑波大学附属坂戸高校の学生による社会課題の解決の取り組みとして、学校にてフードパントリーを開催。

学生が発起した活動を地域で持続可能な活動として実施していくために、市民団体や企業が連携をし、活動団体を設立。

活動メンバーは市民と学生が中心となって活動している。

## ●事業目的

**「子どもにさみしい想いをさせたくない」**

ひとり親家庭や生活困窮者など、生活に困っている人を対象に食品等を無料で配付する活動を通して、必要な支援を行う。また、フードパントリーを通して地域で困っている子どもたちの発掘、必要な支援体制づくり、行政との連携を行い、安心して暮らせる地域づくりを進め、相互扶助の社会づくりを目的とする。

“命をつなぐ”大切な支援を継続して実施していきたい。

## ●フードパントリー開催の背景

日本全国でも子どもたちの7人に1人が「貧困」。ひとり親家庭では、2人に1人に及びます。「厚生労働省：平成28年国民生活基礎調査より」

食材配付の支援を通して、地域で発掘されていない問題や課題を見つけ、行政と連携を取り、ひとりでも多くの子もたち、家庭の支援につなげていきたいと思い、団体設立に至った。（現在、市内で活動する団体は当団体のみ）



# ●フードパントリーとは

生活困窮者やひとり親家庭など、何らかの理由で十分な食事を取ることができない状況の人々に食品を無料で提供する支援活動のこと

## 1. ひとり親や生活に困っている方へ届ける

- 生活に課題や困っていることによって、食事がきちんと摂れない
- 栄養の問題、健康の問題など様々な問題につながる
- 世帯収入が低く、食事以外にも困っていることが多くある



- 食材の確保ができることで栄養がある食事が摂れる
- 食材の寄付を通して、食事代以外のものにお金が充てられる
- 食事以外にも、配付できる寄付品があることによって課題解決につながる

## 2. 食料品等の無料配付で食卓が豊かになる

- 食材が確保できないため、栄養価の低いものや偏った食事になってしまう
- 子どもの学校で使うものなどの準備ができない
- 日常生活用品が用意できず、生活に困っている



- バランスが確保された食事が摂れるようになる
- 高価なものが買えない状態の解消ができる
- 日常生活での必需品の確保ができることで、生活が安定する

## 3. 食品ロス削減に寄与すると同時に、地域で課題を抱えた家庭とつながるきっかけに

- 食品の廃棄問題等が起きている
- フードパントリーの活動がないため、生活困窮者や家庭で課題を抱える子どもとの出会い、きっかけがない



- 食品ロスの解消をすることにより、提供元にとってのメリットもある
- 課題を抱える家庭やこどもの相談、支援等ができる体制づくりのきっかけになる

# ●フードパントリー\_\_活動概要（事業内容）

## ●利用者とは

- ・生活に困っている方
- ・条件に該当する方

（児童扶養手当受給者証所有者・障害者手帳保有者・学習支援を受けている方）

## ●活動

- ・現在、坂戸市内で2か所の会場を利用して毎月開催

奇数月：埼玉トヨペット坂戸サービスセンター

偶数月：筑波大学附属坂戸高等学校

- ・坂戸市の協力を受け、ひとり親家庭や学習支援を受けている家庭に案内をして頂いている（対象者の発掘）

## ●配付品の募集方法

- ・セカンド・ハーベスト・ジャパン（以下、「2HJ」と記載）からの支援物資、埼玉トヨペットの企業内フードドライブや学校内で実施するフードドライブにより集まった寄付品を配付

- ・臨時で埼玉県フードパントリーネットワークからお知らせがあった寄付品を配付



# ●フードパントリー\_\_活動概要

## 【現在の活動】

- チラシ作成・配布
- フードドライブ  
(各関係者の企業内や学校内)
- 毎月1回の定期開催
- 臨時開催

令和3年度坂戸市提案型協働事業

## 坂戸市内にて フードパントリー開催！！

食料品を無料で配付します ※各会場開催4日前までの申し込み  
定員となり次第締め切り（裏面参照）

**偶数月（4・6・8・10・12・2月）**

**開催会場** 第4日曜日 15:00～17:00  
埼玉トヨペット坂戸サービスセンター  
(坂戸市つつさい花みず木1丁目6-2)

**奇数月（5・7・9・11・1・3月）**

**開催会場** 第2日曜日 15:00～17:00  
筑波大学附属坂戸高等学校  
(坂戸市千代田1丁目2-4-1)

**フードパントリーとは…**

生活に困難している方やひとり親家庭など、何らかの理由で十分な食事をとることのできない状況の人々に食料品を無料で提供する支援活動のこと。  
(「坂戸フードパントリー おひさま」では子育て応援を目的としています。対象になるか確認をしたい場合は事務局までお問い合わせ下さい)

**対象者**

- ＊生活にお困りの方
- ＊児童扶養手当受給者証、障がい者手帳をお持ちの方
- ＊学習支援を受けている方など

【主催】坂戸フードパントリー おひさま  
【構成団体】一般社団法人シンビオージ  
埼玉トヨペットホールディングス（株）  
埼玉県・筑波大学附属坂戸高等学校 学生有志

【受付・問い合わせ窓口】  
(事務局：一般社団法人シンビオージ)  
担当：山口 (070-1507-2520)

ボランティア・配付品の寄付等についてのお問い合わせも事務局までご連絡下さい

みんなで温かい“家庭の味”を楽しめる時間に。

市で定期的に開催する「フードパントリー」。会員献活動」と各家庭の「願い」がマッチすることで対策に繋がります。より、ご家庭の食事がさらに楽しい時間になり、親子で笑顔をみることが願っています。



**参加方法** ※フードパントリーに参加するには会員登録が必須です。市より公式LINEの友達登録を行い、氏名(住所、電話番号、家族構成、参加希望日(受取場所)、参加希望時間)をチャットで送信してください



LINE公式アカウント

田〇〇  
ト〇〇  
4),長女(11),次男(5)  
),埼玉トヨペット坂戸サービスセンター

※配付する数に限りがあるため、締切日前に受付が終了することがございます。あらかじめご了承ください

確認できない場合、食品をお渡しいたげることができません  
「手当受給者証」  
はお客様の「障がい者手帳」等必要証明書を  
お持ちください



帰るための大きめのカバン(キャスターのついたものをお勧めします)  
(保冷剤・冷蔵食がある場合があります)

**希望の方は、下記をよく読み、ご了承の上お申し込みください**

締め切りとさせていただきます。  
アルコール消毒、会場入り口での検温など、感染症対策へのご協力をお願いします。  
「予約」の際に入力いただいた個人情報につきましては、  
外の目的には使用しません。  
にお顔が映らない形での写真撮影をさせていただく場合がございます。  
いただくものは、企業様、個人様等からの寄付品、寄贈品ですので、  
お断りいたします。ご理解お願いいたします。

・本取り組みに関する会場へのお問い合わせはご連絡ください。お問い合わせについては、表面に表記している【受付・問い合わせ窓口】までお願いします。

**協力団体** セカンドハーベスト・ジャパン

セカンドハーベスト・ジャパンは、日本で初めて法人化されたフードバンク団体です。「フードバンク」とは、食品メーカー、小売り、流通業者、農家、個人などから食品の寄付を受け、それが必要としている人へ届ける活動を行う団体のことです。セカンドハーベスト・ジャパンは、「すべての人に食べ物を」という理念のもと、2002年よりフードバンク活動を行っています。2018年4月からは認定NPO法人になりました。

# ●フードパントリー\_\_活動概要（成果）

坂戸市役所内にて「フードドライブ」開催！（協働関係課との連携）

令和3年度坂戸市提案型協働事業 主催：坂戸フードパントリーおひさま

## フードバンク、 フードドライブ活動始めます

以下の日程でフードドライブを開催！食材等

第1回 令和3年11月10日(水) 16:00~17:00頃

第2回 令和3年12月22日(水) 16:00~17:00頃

会場 坂戸市役所

埼玉県坂戸市千代田1-1-1

※3回目以降については、  
支援者登録をしてくださった方々に  
お知らせいたします

市内の公共施設、坂戸市役所内等の  
ポスター掲示により啓発活動を実施

### フードバンクとは？

主に家庭で余っている食べ物を、地域の福祉団体やフードバンク等へ寄付し、必要としている人のもとへ届ける活動

### フードドライブとは？

主に企業や農家から出る、まだ十分食べられるのに余っている食品を寄贈してもらい、必要としている人のもとへ届ける活動



Q 集まった食品はどこへ行くのでしょうか？

毎月定期開催するフードパントリーで配付します。また、坂戸市内の子ども食堂運営団体と連携して食材をシェアし、食品ロスの削減にも取り組んでいます。

Q 中身に影響がない程度の破損であれば寄付できますか？

種類にもよりますが、例えばレトルト食品の場合、外箱が破損していても中身のパウチに破損がなければ対象となります。

Q 砂糖など、賞味期限がない食品は対象ですか？

未開封で包装に破損がないものであれば対象となります。

### 食品の寄付をご検討の方へ

#### 企業・法人の皆様

まだ充分美味しく食べられるのに、様々な理由で販売できなくなってしまった…、そんな食品はありませんか？  
食品製造者、販売者、小売店、農業法人、その他関連企業の方は、直接事務局までお問い合わせください。

#### 開催について

今後は定期的な開催を予定しています。  
興味・関心のある方は「支援者登録」にご協力をお願いします。



#### 個人の皆様

個人の方からの食料品のご寄付も受け付けております。特に以下のような食料品を必要としています。

お持ち込みいただける食品の条件

- 未開封
- 賞味期限まで2ヶ月以上
- 常温保存
- 缶詰
- 乾物・乾麺
- インスタント・レトルト食品
- 調味料各種
- 嗜好品（お茶・コーヒーなど）
- お米
- 飲料（アルコール類は除く）
- ギフトバック（お歳暮等、贈答品の余剰等）

#### お持ち込みいただけません

- × 外装が破損しているもの
- × ビン詰めの食品
- × 冷凍・冷蔵・生鮮食品

### ご協力をお願い

「坂戸フードパントリーおひさま」では、運営・活動のため、食品の寄付以外にも様々なかたちでの皆様のご協力を募集しております。是非ご検討ください。

#### 運営協力をお願い

当団体の運営（定期的なフードバンク・フードドライブ活動、その他）に関わっていただく会員を募集しています。

- 個人正会員
- 年会費：1,200円（学生600円）
- 個人賛助会員
- 年会費：5,000円

#### ボランティア募集

当団体の活動ボランティアを募集しています。  
食品配付時の準備、支援者・団体への支援品の受け取りなど、全て無償ボランティアにて実施しています。

#### 寄付をお願い

活動継続のために協賛金の寄付を募集しています。  
個人・団体問わず受け付けております。  
協賛金  
いくらからでも受け付けます

詳しくは事務局までお問い合わせください！

お問い合わせ先

坂戸フードパントリーおひさま

坂戸市南町7-1（一般社団法人シンピオージ内）

Mail: sakado.fp.ohisama@gmail.com  
事務局：山口 (070-1507-2520)

# ●フードパントリー\_\_活動概要（成果）

## 坂戸市役所内にて「フードドライブ」開催！（協働関係課との連携）



11月、12月開催し、延べ14名の方から寄付をして頂きました。

※協働関係課のご協力のもと、市役所内の各課の職員さんへお声掛け  
いただくことができ、庁内の職員さんへの啓発活動にご協力いただきました。

# フードドライブ開催時に、市民の方へ活動の周知・啓発活動を行いました。

坂戸フードパントリーおひさまは  
あなたの地域でこんなことやってます！



## 月1回のパントリー活動



継続した支援活動に  
～地域でのつながり作り～

4月からはじまったパントリー活動。行政と連携して、支援を必要とする世帯の発掘、つながりづくりに取り組んでいます。支援を必要とする世帯数は多く、地域の社会資源とつながり、連携していくことで、支援を必要とする世帯のサポートを目指します。

2021年4月から始まったパントリーの活動。高校生が活動の発起人となり誕生しました。坂戸市になかった活動であったことから、企業と民間団体がサポートで関わることになり継続した開催になりました。



## 配付物の仕分け作業



## 配付物の仕分け作業



## 配付物の仕分け作業



地域の企業様・市民の皆様の協力が不可欠です。



## JA埼玉中央様より

当団体は埼玉県フードパントリーネットワークに所属することで、埼玉県や他団体からの支援も受けることができます。ただし、不定期となるため、毎月開催時に配付する支援品の募集に困っています。地元企業や市民の方々の方々の支援を受けることで、安定した食材や配付品の募集を目指しています。

坂戸市には、配付の対象となる世帯が650世帯以上あります。現在登録されている世帯は、配布対象世帯の1割程度にとどまっていますが、より多くの生活に困っている世帯や支援を必要とする家庭、お子さんへの支援活動をして行くためには、多くの方の協力が必要です。ひとりひとりの支援が、多くの方の生活を支える活動につながります。



## 埼玉県社協様より

ひとりひとりの支援や団体・企業様からの支援や協力を受けることで、持続可能な支援活動につなげていきたいと切に願っています。支援をお待ちしております。



「スーパーJチャンネルで紹介いただきました(QRコードよりアクセスできます)」

地域を動かした女子高生「子どもの貧困を救う」(筑波大学附属坂戸高等学校)

「本当に必要としている人たちに提供したい」

成長期に食べたいものが食べられない子どもを支援したい。活動を多くの人に知ってもらい、必要としている人たちの支援をしたいです。1日も長く支援ができるよう、地域でのつながり作り・支援体制を作りたいです。



発起人/ 西野 葵

坂戸フードパントリーおひさま

事務局：坂戸市南町7-1  
一般社団法人シンピオージ内  
担当者：山口 (070-1507-2520)

# ●フードパントリー\_\_活動概要（成果）

埼玉フードパントリーネットワークとの連携により県全体からの寄付も募ることができる

## ●埼玉フードパントリーネットワークとは

埼玉県内で、ひとり親世帯など子育て中で食品支援が必要な家庭を対象に**食品を無料で配付するフードパントリー活動を行っている団体のネットワーク**です。対象世帯と顔の見える関係でつながることを目的としている。



### 【ネットワークとの連携事例】

- ・2HJ（セカンド・ハーベスト・ジャパン）との業務提携
- ・埼玉県からの配付品受取
- ・埼玉県社会福祉協議会からの配付品受取（JA埼玉中央から寄贈）
- ・企業からの配付品受取（ランドセル配付等）



HPサイトは  
こちらQRコードより



提供元：JA埼玉中央



提供元：県社協



ランドセルの寄付

# ●フードパントリー\_\_メディア紹介

## 「子どもの貧困、何とかしたい」 高校生がフードパントリー ― 坂戸で初 14日、菱沼さんが開催

2021年2月12日 07時40分



坂戸市で初のフードパントリーを企画した高校2年生の菱沼幸歩さん＝坂戸市で

筑波大付属坂戸高校二年の菱沼幸歩（ゆきほ）さん（17）が十四日、ひとり親世帯の保護者・子ども（三十世帯）を対象に、フードパントリー（食料の無料配布）を同校で開く。坂戸市でフードパントリーが開かれるのは初めてという。菱沼さんは「子どもの貧困を何とかしたい」と、昨年夏から学外での活動を模索。周囲から「高校生による開催は難しい」と言われたが、あきらめずに大人たちの協力を取り付け、実現にこぎ着けた。「三年生になっても続けていきたい」と話している。（中里宏）

菱沼さんは昨年四月からの選択授業の一環で「子どもの貧困」問題に取り組む中で「成長期に食べたいものを食べられない子どもを直接支援したい」との思いを強め、フードパント

リーのなかった坂戸市での開催を思い付いた。学校側は当初「高校生が主催するのは難しい」と難色を示したが、菱沼さんはあきらめなかった。

同年夏から、ボランティア団体に人脈のある同校の熊倉悠貴教諭（福祉科）から、東上線沿線でフードパントリーを行う団体を紹介されて現場を勉強したり、協力をお願いしたりしてきた。最終的に県フードパントリーネットワークや埼玉トヨペットの協力が得られることになり、十四日午後三時～五時、同校正門近くでの開催が決まった。ホームルームを通じて一、二年生に呼び掛けたところ、在校生からも多くのレトルト食品や菓子類が寄せられた。

菱沼さんにアドバイスをした「富士見みんなでプロジェクト」代表の東海林尚文さん（47）は「菱沼さんは大人にだめと言われてもあきらめず、頑張って大人を動かしてきた」と感心。「高校生だからということではなく、子どもの貧困に取り組もうと、同じ方向を向いて活動してくれる人が増えるのは心強い」と話す。

菱沼さんは「子どもにさびしい思いをさせたくない。できれば継続して活動したい」と話している。フードパントリーの申し込みは電子メール（y-hishinu@gmail.com）で。直接訪問でもよい。

初のフードパントリー開催前に取材していただきました。

東京新聞web2021.2.12紹介

## 足元から学び実践

### 筑波大付属 坂戸高校 生徒がパントリー

(第3種郵便物認可)

暮らしに困っている人に無料で食料品を提供する活動「フードパントリー」が、坂戸市の筑波大付属坂戸高校（田村憲司校長、生徒数468人）で行われた。貧困について調べてきた生徒の取り組みの一環で関係団体が協力し実現した。新型コロナウイルスの影響で低所得者世帯の暮らしに厳しさが増す中、15世帯が支援を受けた。

(関根義浩)



フードパントリー会場で対応する菱沼さん（左）―坂戸市千代田1丁目の筑波大付属坂戸高校

会場にはバナナやホウレンソウ、レトルトカレー、缶詰、カップめん、しょうゆ、油、コメなど、たくさん食料品を並べた。フードバンクの活動団体や農家などから提供を受け、校内で呼び掛けに賛同した生徒の協力も得た。

NPO埼玉フードパントリーネットワークによると、地域で無料または低価格で子どもたちに食事を提供する「子ども食堂」がコロナの影響で再開できず、ひとりの親世帯の負担が増しているという。会場に駆け付けた同NPO代表の草場澄江さんは「コロナ下で生活困窮者の切実さが増している。こうした高校生の意欲的な支援は頼もしい」と話していた。

## コロナに負けるな

同校は2年生になると、生徒がグローバル課題を設定し、解決に向けた取り組みを実践するプログラムを導入している。本年度は在日外国人

と地域をつなぐ方策や農業を通じた地域活性化、会員制交流サイト（SNS）上の誹謗中傷対策をはじめ、エネルギー、動物愛護などの学習テーマをもとに実践してきた。菱沼幸歩さん（17）は「子どもの貧困をテーマに据え、子育て支援団体から話を聞いた」と、今回の活動で中

たの、フードパントリーの現場を視察したりと理解を深めていった。「貧困に苦しむ子どもは世界中にいるが、まずは身近な地域に目を向けるべき」と菱沼さん。「子どもに食べ物を届けるのに自分ができることがフードパントリーだった」と、今回の活動で中

東松山市から8歳長男と5歳次男を連れて訪れたシングルマザーの女性（40）は「お米など主食になる食品を頂けて助かった」。長男は「高校生のお姉さんが笑顔で優しくした」と喜んでた。

将来は看護師になり、病气やけがで苦しむ子どもに寄り添いたいという菱沼さんは「これからも地域のフードパントリーに参加し、お手伝いしていきたい」と話していた。

# ●フードパントリー\_\_メディア紹介

## 坂戸市で高校生が始めた食料無償配布 団体発足、毎月開催へ 「貧困の問題 身近に感じて」

2021年5月2日 07時17分



4月25日のフードパントリーを準備するメンバーたち=坂戸市で（坂戸フードパントリー おひさま提供）

筑波大付属坂戸高校三年の菱沼幸歩さん（17）が二月（当時二年生）、坂戸市で初めてフードパントリー（食料の無償配布）を開いたのを契機に、同市で実施団体「坂戸フードパントリー おひさま」が発足。毎月一回、フードパントリーを開くことになった。「おひさま」で活動を続けることになった菱沼さんは「食料を必要としている人たちに継続して関わることが、すごくうれしい」と話している。（中里宏）

菱沼さんは二年生の選択授業で「子どもの貧困」に取り組んだのをきっかけに、「成長期に食べられない子どもを直接支援したい」と、フードパントリーがなかった坂戸市での開催を決意。同校の熊倉悠貴教諭（36）から紹介された団体などの協力を得て、二月十四日に同市初の開催にこぎ着けた。

同じころ、坂戸市でのフードパントリー開催を目指していた同市の一般社団法人シンピオージと、地元企業が「坂戸フードパントリー おひさま」を発足。菱沼さんら学生有志も参加することになった。

会場は埼玉トヨペット坂戸サービスセンター（坂戸市にっさい花みずきー）。同校も月替わりで会場になる予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大で当面、見合わせるようになった。「おひさま」としての第一回は四月二十五日、児童扶養手当を受給している人を対象に開かれた。

菱沼さんは「フードパントリーの存在を知ってもらい、参加者を増やしていきたい。貧困の問題を多くの人に身近に感じてもらいたい」と話している。次回の開催は九日午後三時から同センターで。事前登録の問い合わせはシンピオージ=電070（1507）2520=へ。

4月に団体設立。  
団体として初の開催。

東京新聞web2021.5.2紹介



# ●フードパントリー\_\_メディア紹介

## スーパーJチャンネル



当団体設立に至った発起人の学生の紹介VTR

<https://www.youtube.com/watch?v=cfAOYBztcJs>



QRコードより  
動画視聴できます

# ●フードパントリー\_\_メディア紹介



スーパーJチャンネルにて放送（動画）

# ●フードパントリー\_\_活動実績（成果）

## 利用世帯状況 (2021.12月現在)

	利用世帯数	新規加入世帯数
7月（学校）	13世帯	2世帯
8月（企業）	18世帯	4世帯
9月（企業）	20世帯	3世帯
10月（企業）	20世帯	0世帯
11月（学校）	59世帯	54世帯
12月（企業）	54世帯	4世帯

### 【開催日】

- 奇数月...第2日曜日  
(学校での開催)
- 偶数月...第4日曜日  
(企業での開催)

### 【開催時間】

15:00～17:00（夏時間）／14:00～16:00（冬時間）  
※ご利用世帯数が増えた際には時間の延長、開催場所を増やすなどを検討

※4月以降については、新型コロナウイルス感染症の影響により、「緊急事態宣言」等によって学校での開催が不可となった場合、企業様にご協力をいただき開催しました。

提案型協働事業実施期間（7月～）  
延べ184世帯へ配付

### 【開催時の様子】



# ●フードパントリー\_\_活動における課題

## 開催における **3** つの課題



### 配付食品の確保

- ・活動メンバー内や会場提供先独自によるフードドライブ活動になっているため、配付量にばらつきがある
- ・確保できる配付品にばらつきがあるため、配付するご家庭ごとに配付する内容が異なってしまう

### 安定した食材ルート

- ・固定して安定した配付品の確保ができていない
- ・フードパントリーネットワークからの情報提供される物についても遠方まで取りに行く必要があり、内容量と手間や経費（交通費等）のバランスが崩れている
- ・近隣（坂戸市周辺）内での取引先企業等がない

### 団体活動の財源確保

- ・坂戸市内のひとり親家庭の世帯数への配付を考えた際、団体としての安定した活動財源が不足している
- ※専属コーディネイトスタッフの人件費
- ※食材確保にあたっての回収作業や取引先関係者との連絡・連携体制

**活動団体の認知度が低い**

# ●フードパントリー\_\_今後の改善・取り組み

## 今後の活動の改善に向けて

### 配付食品の確保のための活動

・今年度の活動実績をもとに、企業さんをはじめ地域内のさまざまな団体、学校等への訪問をし、フードドライブの協力依頼を進める。

### 安定した食材ルートの確保

・活動団体を知ってもらい、協力していただける企業、お店、団体等とのパイプを作っていく。  
・定期的にフードドライブを実施していただける団体やフードドライブの実施に向けてのノウハウ等をレクチャーするなどし、応援したい方のサポート体制を作る。

### 活動団体を認知してもらおう

・フードパントリーの活動を知っていただくために、啓発活動・SNS等を活用して発信をして行く。  
・またイベント等への出店をし、活動団体の認知をしてもらう。  
・広報等を通じて、活動団体を知っていただく機会を積極的に設ける。  
・ポスター等の作成をし、さまざまな企業、団体へ配布をする。

### 団体活動の財源確保

・坂戸市内のひとり親家庭の世帯数への配付を考えた際、団体としての安定した活動財源が必要となってくるため、スポンサー企業の発掘、助成金等の活用を積極的に行っていく。  
※専属コーディネータスタッフの人件費  
※食材確保にあたっての回収作業や取引先関係者との連絡・連携体制

**活動団体の認知度を高め、協力・協賛してくださる方とのネットワーク構築**

2021年12月現在  
収支決算書

坂戸市提案型協働事業収支決算書		
	団体名	坂戸フードパントリー おひさま
2021年12月末時点 (収 入)		
区分	予算額 (円)	説明
補助金	100,000	坂戸市提案型協働事業補助金
会員会費	5,400	正会員：大人1,200円×4名／学生600円×1名
合 計	105,400	
(支 出)		
区分	金額 (円)	説明
役員費用弁償	5,000	役員費用弁償 (5名×1,000円)
報酬費	18,000	ボランティア謝礼 (日当・交通費) @1,000円×18人 (6か月)
需用費	34,761	・チラシ制作費 (11,000円) ※片面制作費 ・ポスター印刷費 (4,550円) ・チラシ等印刷費 (4,735円) ※片面印刷代 ・のぼり旗制作費 (8,866円) ※フードドライブ、パントリーのぼり旗代 ・のぼり旗専用台、ポール購入 (5,610円)
旅費	5,000	埼玉フードパントリーネットワーク経由寄付受け取り交通費 中間拠点・他受け取り場所 / (1,000円 / 1回×5回)
備品購入費	10,400	IKEA袋100枚分 (配付品小分け用袋)
消耗品費	0	
合 計	<b>68,161</b>	

# 坂戸フードパントリーおひさま

ホームページ

開設準備中

facebook

<https://www.facebook.com/sakadofoodpantry.ohisama/>



団体名：坂戸フードパントリーおひさま

住所：〒350-0233 埼玉県坂戸市南町7-1（一般社団法人シンビオージ）

Mail:sakado.fp.ohisama@gmail.com

代表兼事務局：山口（070-1507-2520）